

平成 28 年 3 月 15 日

白馬村長 下川 正剛 様

白馬村計画審議会
会長 伊藤 公一

白馬村第 5 次総合計画基本構想の策定について（答申）（案）

平成 27 年 8 月 24 日付け白総第 322 号で本審議会に諮問のあった、「白馬村第 5 次総合計画基本構想」の策定について、全 9 回の審議会を通じ審議を重ねた結果、別添白馬村第 5 次総合計画基本構想（案）のとおり答申します。

記

- 1 本構想は、白馬村の特色である人、文化、自然などの多様性を、本村のさらなる発展につなげることを基本理念としている。白馬に集う全ての者が、その能力や価値観を互いに尊重し、学び続け、支え合うことができれば、今後も激しく変化するであろう社会環境にも対応し、あらゆる分野で「豊かさ」にあふれた白馬村を実現できるものとする。

10 年後に、誰もが「住んでよかった」「訪れてよかった」と実感できる、他に類を見ない素晴らしい村を創り上げるため、この基本理念を軸として、村政運営にあたっていただきたい。

- 2 本構想は、基本理念を実現するために「暮らし」「産業」「ひと」「自然」の視点から 4 つの基本目標を定めた。これは、住民からの意見聴取などから見えてきた、白馬村の抱える課題を中心に取りまとめ、施策の方向性を定めたものである。

平成 28 年度からは、基本計画の策定に入る訳であるが、この基本目標が示す方向性に従い、時代と地域の特性に合った、効果的な施策の展開を期待する。また、基本計画の策定にあたっては、本構想の策定時と同じく、地域住民の声に積極的に耳を傾け、その意見等を反映するよう努力していただきたい。